



追手門学院大学 教育後援会会報

見学並びに 懇親会印象記

事業委員長 岡本洋子

十月十八日(月)、平城遷都千三百年祭の行われている奈良を目指し、約百三十名を乗せたバス三台は、新大阪を出発しました。予定通り十時に最初の目的地である、平城宮跡に到着しました。毎年懸念される天候ですが、汗ばむほどの行楽日和で、朱雀門の前ではそれぞれに記念写真を撮ったりすることができました。

正面玄関・朱雀門から約八百メートル歩き、都の中でも最も重要な建物であった第一次大極殿へ。文化庁により約九年かけて復原され、千三百年祭の開催に合わせて一般公開されています。当時天皇が座った王座「高御座の実物大模型」は、想像以上に大きいものでした。また、上村松園の孫であり、現代花鳥画家の第一人者として活躍する上村淳之の手がけた四神と十二支は、

とても鮮やかな壁画でした。途中、交流広場のまほろばステージでは、かわいい「せん」とくんぐのダンスを観ることができました。



そして昼食会場の神仙境へ。お弁当が用意されており、スムーズに済ませることができたので、お土産を選んだり、鹿煎餅をあげて鹿と戯れたりといつくりできました。

午後は、ならまちセンターにて狂言鑑賞。国際教養学部長永吉先生の講話では、『伊勢物語』や『宇治拾遺物語』などを例に、

発行所
追手門学院大学
教育後援会
〒567-8502
茨木市西安威2-1-15
TEL 072 (641) 9668
FAX 072 (641) 9664
印刷所
株式会社 七旺社
神戸市長田区一番町2-1
TEL 078 (575) 5212



奈良がいにしえの都として描かれていることを学びました。高校時代に数十年タイムスリップして古典の授業を懐かしく思い出したのは、私だけではないと思います。その後「清水」の舞台を楽しませていただきました。猿沢の池に面し、創業百年の大正ロマン漂う佇まいは、懇親会の締めくくりにふさわしい落ち着いた雰囲気の良い奈良ホテルです。上品な癖のないフレンチは、どなたの御口にも合ったのではないのでしょうか。テーブルでは、『毎年この行事を楽しみにしている』と現役学生や卒業生の保護者の方、またOBの方からお話を伺うことができました。会員皆様のおかげで実り多い秋の一日を過ごすことができました。感謝しております。来年もどうぞ宜しくお願いいたします。ありがとうございます。

会長就任にあたって



大野 茂

二〇一〇年度教育後援会の会長を務めさせて頂いております大野でございます。会員の皆様には、日頃より本会活動に対しご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。

本会の目的の一つは、新会員を歓迎する「桜の緑」や教養と懇親を深めるための「見学懇親会」、厳しい就職戦線をサポートするための「保護者のための就職講演会」等様々な行事を通じて会員の皆様が相互に親睦を深め、追手門学院大学の発展に寄与することにあります。

目的の二つは、将来に大きな夢を抱く学生の大学生活を側面からサポートし、本学の建学の精神「独立自強・社会有為」の教養が達成されるよう努めております。これには、学生関係援助費や特別奨学金助成等の支援制度を設け、学生の勉学やクラブ活動を援助しております。

今後も本会の目的をご理解いただき、ご支援とご協力を賜ります様、心からお願ひ申し上げます。

2010年度教育後援会 総会開催

二〇一〇年度教育後援会総会が六月五日(土)学生会館大ホールにて、午前十時三十分から出席者六九名、委任状九五〇名、合計一〇一九名をもって開催しました。(教育後援会規約第六章第十一条「総会の決議は、出席者(委任状出席も含む)の過半数の賛成を必要とする。」「ことが規定されており、各議案については、出席者の拍手をもって承認となりました。)

議事に先立ち、二〇〇九年度の実行委員並びに大学の部長・幹事が紹介され、続いて黒田会長の挨拶、落合学長の挨拶が行われました。その後、次第に従い議事に入り、以下のことが承認されました。

二〇〇九年度事業報告

一、大学への助成

(1) 本会の事務処理に対する援助
教育後援会事務担当の派遣職員に係る経費の援助を行いました。

(2) 新一号館竣工に伴う記念事業費
カリヨン一二ベルモニュメント「なごみの鐘」購入費用の

一部を寄附しました。

二、学生への助成

(1) 学生活動への一部補助

(2) 学生奨学金への全額援助

・経済的困窮者(経済困難支援) 給付奨学金への全額援助

・修学援助給付奨学金への全額援助

(3) 短期貸付金制度への全額援助

(4) 国際交流活動に対する一部補助

(5) 就職模擬試験の受験料の一部補助

(6) 卒業謝恩パーティーの主催

(7) 冊子「新入生へのメッセージ」の配付

(8) 入学・卒業記念品の贈呈に対する全額援助

三、家庭と大学との連絡を図る事業

(1) 『教育後援会会報』の発行

(2) 『保護者のためのキャンパスガイド』の発行

(3) 見学並びに懇親会の開催

二〇〇九年十月二十一日(水)、徳島県鳴門市「大塚国際美術館」の見学並びに「ホテルオークラ神戸」における懇親会

(4) 教育懇談会(大学・岡山)及び修学相談会の開催に対する全額援助

(5) 総会・新会員歓迎会・各種委員会の開催

(6) ホームページの充実・維持

(7) 保護者のための就職講演会の開催

(8) 特別公開講座「おうてもん塾」の開催

(9) 保護者のための講演会開催

(10) 新入生保護者歓迎お茶席「桜の縁」開催

四、創立二〇周年記念事業活動

(1) 学院創立二〇周年記念事業に伴う奉拝船への協力

2010年度教育後援会 役員・委員

役員・委員長 (実行委員)

職名	氏名	学年	学科
会長	大野 茂	4	経済
副会長	黒瀬 有里	4	マーケティング
	荒木 眞貴子	3	経営
	西脇 和美	3	経営
	山口 陽子	3	アジア
会計	松本 義明	3	英語
	寺西 貴美子	2	経済
	川口 和則	2	経営
会計監査	奥 朋子	3	英語
	宮脇 裕子	2	マーケティング
	喜多 文代	2	英語
	荒石 美佐子	4	英語
学部委員長	塚本 悟子	2	経済
	岩崎 由貴	2	マーケティング
	戸田 睦美	2	心理
	三浦 佳代	3	心理
事業委員長	原田 邦子	2	ヒューマン
	和田 豊子	2	経営
	岡本 洋子	2	マーケティング
	中井 陽子	2	心理
	辻本 孝恵	2	社会
	眞鍋 陽子	2	英語
幹事	庶務課長 澤山 裕治		
	財務課長 小坂 淳		
	教務課長 坂口 伊知郎		
	学生課長 平川 正人		
	キャリア開発課長 立石 正彦		

職名	氏名	学年	学科
学部委員	柿木 博任	4	マーケティング
	濱田 納代	4	社会
	平田 恵子	3	ヒューマン
	富上 朋子	3	マーケティング
	丹羽 美香	3	社会
	上林 より子	3	英語
	多田 陽子	2	ヒューマン
	堀田 早苗	2	経営
	小林 雅美	2	社会
	金田 年雄	2	アジア
	岩下 洋子	1	経済
	片岡 能子	1	マーケティング
	松塚 博美	1	心理
	伊藤 栄次	1	社会
	大原 慶子	1	アジア
	田中 直美	1	アジア
	川本 桃子	1	英語

職名	氏名	学年	学科
事業委員	太田 周義	4	マーケティング
	和田 ひとみ	3	経済
	平田 和子	3	マーケティング
	中村 徳子	3	アジア
	三田 美貴子	3	アジア
	本田 敦子	2	アジア
	笹川 巧子	1	経済
	藤木 みゆき	1	ヒューマン
	田中 千鶴	1	経営
	津田 美之	1	経営
	大空 裕美子	1	心理
	井上 京子	1	社会
	宗石 志乃	1	社会
	花立 真理	1	アジア
	渡邊 康二	1	アジア
	岸本 明子	1	英語



二〇一〇年度役員案

二〇〇九年度収支決算報告及び会計監査報告

報告のとおり承認されました。(二ページ参照)

次に、二〇〇九年度をもって退任された実行委員十一名の方に、学長から感謝状、記念品、及び花束が贈呈されました。

二〇一〇年度事業計画案

前年度の事業の見直しを図るとともに、記念事業活動として、学院創立二〇周年記念事業に伴う追手門学院奉拝船は今年度が最終回であることを確認し、「上海万博」に大学が参加することへの協力を加えた計画案が承認されました。

二〇一〇年度収支予算案

原案どおり承認されました。(三ページ参照)

(単位:円)

 二〇〇九年度収支計算書
 (2009・4・1～2010・3・31)

科 目	09 年度予算額	09 年度決算額	差 異
会 費	16,130,000	16,130,000	0
会 員 研 修 参 加 費	1,494,000	834,000	660,000
受 取 利 息 配 当 金	70,000	40,687	29,313
雑 収 入	0	91,467	△ 91,467
積 立 基 金 取 崩	35,000,000	35,000,000	0
当 年 度 収 入 合 計	52,694,000	52,096,154	597,846
前 年 度 繰 越 金	69,254,057	69,254,057	0
収 入 の 部 合 計	121,948,057	121,350,211	597,846
会 議 費	920,000	310,555	609,445
会 員 研 修 費	3,100,000	2,300,637	799,363
大 学 施 設 関 係 整 備 費	1,000,000	1,000,000	0
教 育 懇 談 会 援 助 費	2,000,000	1,325,426	674,574
学 生 奨 学 金 助 成 費	11,500,000	12,000,000	△ 500,000
学 生 関 係 援 助 費	5,000,000	3,578,457	1,421,543
120 周 年 記 念 事 業 協 力 費	200,000	200,000	0
会 報 作 成 費	850,000	818,893	31,107
キャンパスガイド作成費	1,250,000	1,224,300	25,700
卒 業 謝 恩 会 費	13,000,000	12,401,050	598,950
入 学 ・ 卒 業 記 念 品 代	8,080,000	7,677,000	403,000
慶 弔 費	600,000	579,800	20,200
通 信 費	2,800,000	2,305,259	494,741
事 務 費	1,200,000	1,238,313	△ 38,313
広 報 費	700,000	577,605	122,395
雑 費	250,000	203,258	46,742
事 務 処 理 負 担 金	3,500,000	3,500,000	0
予 備 費	3,050,000	0	3,050,000
当 年 度 支 出 合 計	59,000,000	51,240,553	7,759,447
次 年 度 繰 越 金	62,948,057	70,109,658	△ 7,161,601
支 出 の 部 合 計	121,948,057	121,350,211	597,846

(単位:円)

 二〇一〇年度収支予算書
 (2010・4・1～2011・3・31)

科 目	10 年度予算額	09 年度予算額	差 異
会 費	32,120,000	16,130,000	15,990,000
会 員 研 修 参 加 費	1,200,000	1,494,000	△ 294,000
受 取 利 息 配 当 金	70,000	70,000	0
雑 収 入	0	0	0
積 立 基 金 取 崩	0	35,000,000	△ 35,000,000
当 年 度 収 入 合 計	33,390,000	52,694,000	△ 19,304,000
前 年 度 繰 越 金	70,109,658	69,254,057	855,601
収 入 の 部 合 計	103,499,658	121,948,057	△ 18,448,399
会 議 費	920,000	920,000	0
会 員 研 修 費	3,100,000	3,100,000	0
大 学 施 設 関 係 整 備 費	0	1,000,000	△ 1,000,000
教 育 懇 談 会 援 助 費	2,000,000	2,000,000	0
学 生 奨 学 金 助 成 費	11,500,000	11,500,000	0
学 生 関 係 援 助 費	5,000,000	5,000,000	0
記 念 事 業 協 力 費	400,000	200,000	200,000
会 報 作 成 費	850,000	850,000	0
キャンパスガイド作成費	1,250,000	1,250,000	0
卒 業 謝 恩 会 費	13,000,000	13,000,000	0
記 念 品 費	8,080,000	8,080,000	0
慶 弔 費	600,000	600,000	0
通 信 費	2,800,000	2,800,000	0
事 務 費	1,200,000	1,200,000	0
広 報 費	700,000	700,000	0
雑 費	250,000	250,000	0
事 務 処 理 援 助 費	3,500,000	3,500,000	0
予 備 費	3,050,000	3,050,000	0
当 年 度 支 出 合 計	58,200,000	59,000,000	△ 800,000
次 年 度 繰 越 金	45,299,658	62,948,057	△ 17,648,399
支 出 の 部 合 計	103,499,658	121,948,057	△ 18,448,399

第44回

将軍山祭

2010年10月30日～11月1日

テーマ Peace×Piece



第44回 将軍山祭 実行委員長談

経済学部 ヒューマンエコノミー学科 4年 大岡 幸平

先日開催されました第44回将軍山祭は、10月30日から11月1日にかけて開催され、台風の影響もありましたが無事終了することができました。第44回将軍山祭の運営にあたり、御支援、御協力下さいました関係者の皆様に、委員会を代表致しまして厚く御礼申し上げます。

今年は「Peace × Piece」というテーマのもと、活動をしてきました。このテーマには第44回の将軍山祭が大きなトラブルなく無事平穩に終わります様に、そして将軍山祭に関わる全ての人々が持つそれぞれ違う個性が一つとなる事で「将軍山祭」という大きなパズルを完成させるという願いが込められていました。本番一日目は、台風の影響で屋外イベント、模擬店が中止となりましたが、お笑いライブは無事開催され、大盛況のうちに終了しました。二日目は、大雨が降り、屋外イベントは中止となりましたが模擬店はなんとか最後まで運営でき、将軍山祭二大イベントでもあるゲストコンサートと打ち上げ花火も盛大に行われました。三日日も雨天となりましたが、屋外イベント、屋内イベント、模擬店ともに無事終了し、第44回将軍山祭は幕を閉じました。この三日間を通じて、平穩だったとは言えませんが、将軍山祭を成功させるという想いを持つ人々の「Piece」はつながり、一つのパズルを完成させる事ができたと思います。

今後とも、御支援、御協力の程、よろしくお願い致します。





ビューティフルホリデープランを 振り返って

経営学部 マーケティング学科 2年 河口 千鶴
心理学部 心理学 2年 土江 志歩

毎年恒例のBHP (Beautiful Holiday Plan) が、今年も10月30日から11月1日にかけて行われました。BHPとは、茨木周辺の施設の方々を将軍山祭に招待し、楽しんで頂くための企画です。

BHPというイベントは、将軍山祭のスタッフだけでなく、一般学生のボランティアの方々の協力も必要です。今年も多く的一般学生の方々に協力して頂きました。施設の方々には毎年とても楽しみにして頂いているということで、昨年より更に素敵なおもてなしをさせて頂きたいと思い、私たちは一年間頑張ってきました。今年は台風の影響もあり、本番も危ぶまれましたが、無事本番を迎えることができ招待者の方々とボランティアの方々が楽しそうに話をしているのを見て、今まで頑張ってきて本当に良かったと思える三日間となりました。BHPを無事終えることができたのもたくさんの方々の応援と援助があったからだと思心から感謝しています。

最後になりましたが、この一年間BHP担当をあたたく見守り、支えてくださった多くの皆様、誠にありがとうございました。来年、再来年と変わらぬご理解、ご支援の程、よろしくお願いいたします。



ホームカミング・デー交歓会

おかえりやす追大へ



今回で二十回目となるホームカミング・デー交歓会が、大学祭期間中の、十月三十一日(日)に食堂棟一階で開催され、卒業生が、多数参加されました。

今回から、還暦を迎えられた校友をお祝いする試みが始まり、ご参加いただいた皆様にはポストカードが進呈されました。

当日は、雨模様になりましたが、集まった参加者は、教職員と、また卒業生同士で、和やかに旧交を温め合っておられました。本会からは大野会長が参加し、挨拶いたしました。

終始賑やかに進行し、最後は、追手門学院歌を会場の皆様と一緒に斉唱し、閉会となりました。





2010 年度海外研修プログラム体験記



中国語現地演習体験記

国際教養学部 アジア学科 二年

山本 悠

私が中国語現地演習に参加した理由は、ただ海外の寮で暮らしてみたいという憧れがあったからでした。現地演習に行く前は、正直中国の印象は私の中ではあまり良くなく、申し込みの寸前までこの留学に参加することを悩んでいました。しかし、実際に中国へ行くと、自分の思っていた印象とずいぶ

ん違って、すごく驚きました。

まず驚いたことは、親切で優しい中国人が多かったことです。私にとって中国人の印象は言語の発音的にも少し性格が強そう、近寄りたがたいイメージがありました。実際にはすごく優しく親切な人ばかりでした。そして、食べ物も予想以上に美味しく、留学中食べ物で困ることはありませんでした。中でも、中国の料理で有名な小籠包を焼いた、『生煎』と

いう料理が非常に美味しく、日本に帰国した今でも食べたくなるほど、やみつきになりました。

また、現地の大学で日本語を学んでいる中国人生と交流することができました。そこで日本に留学した経験もない彼らの日本語を話す能力は非常に高いことに感心し、また、自分たちの勉強する姿勢を改めて考えさせられました。



ですが、留学で得た大切な友達や、中国での多くの経験は何物にも代えがたく、今では私にとって大切な宝物です。この留学をきっかけに、もっと中国のことを知り、中国語を話せるよう、意欲的に取り組んでいきたいと思っています。

カナダ現地演習体験記

国際教養学部 英語コミュニケーション学科 二年

渡辺 真理子

私はただ留学に対する憧れ、そして英語に興味を持てる何かきっかけになればいい、という思いからバンクーバーセミナーに参加しました。カナダでは、ホームステイ先の家族との時間を大切にすることを心掛けました。毎日の出来事を話したり、子供と遊んだり、家族旅行する機会もありました。親戚や、

他国の留学生とも仲良くなることで、本当にいい経験ができたと思います。会話をすることで単語を繋げただけのこともありました。先生も家族も理解しようと耳を傾けてくれて、こちらが理解できなくても簡単に言い直してくれました。

一ヶ月足らずの短い期間でしたが、日本との違いに驚かされることが多々ありました。例えばスケジュール通りにバスは来ないし、さすがに一時間く

らい待ったときは何て適当な国だと思いました。しかし習慣だと受け入れてみれば、案外日本よりのんびり生活ができ、何よりも現地の人の心が本当にあったかと思えることができました。

一つだけ悔しかったことが、家族や親戚みんなが笑っているとき、一緒に笑えなかったということです。もっと聞き取りができていたら、伝える能力があればと今でも思います。しかし私にとっては、このこ



とが大きな収穫となりました。将来英語に関わる仕事がしたいと自ら思い、絶対にまた留学するという目標もでき、やっとスタートがきれたように思います。今後はそれに向けて知識と実践力を身につけていきたいです。

国際交流教育センターから2010年度秋学期交換受入留学生来学のお知らせ

秋学期に11名の交換留学生が来学しています。ぜひ、積極的に交流してください。

◆グジャラート大学 (インド)

Ms.Riddhi Bhatia (リディ・バーティア)
Ms.Urvija Shah (ウルヴィジャ・シャー)
(2010年10月27日から約3ヶ月間)

◆サンシャインコースト大学 (オーストラリア)

Ms.Zoe Barber (ゾーイ・バーバー)
(2010年9月13日から約4ヶ月間)

◆スノーカレッジ (アメリカ)

Ms.Brooke Dabel (ブルック・デابل)
(2010年9月13日から約4ヶ月間)

◆バルドスタ州立大学 (アメリカ)

Mr.Derek Buchman (デレク・ブックマン)
(2010年9月13日から約3ヶ月間)
Mr.Kyle Hamilton (カイル・ハミルトン)
(2010年9月14日から約4ヶ月間)

◆フェリス州立大学 (アメリカ)

Mr.Kevin Cuppett (ケヴィン・クペット)
(2010年9月13日から約4ヶ月間)

◆ヨーロッパビジネススクール (イギリス)

Ms.Julia Frankenius (ジュリア・フランケニウス)
Ms.Lucero Inhara Ortiz Toledo (ルセロ・イナラ・オルティーズ・トレド)
Ms.Maja Risovic (マヤ・リソヴィッチ)
(2010年9月13日から約4ヶ月間)

◆南京大学 (中国)

陳 婷婷さん (チン・ティティ)
(2010年3月26日から約1年間)

二〇一〇年度 春学期末学位授与式並びに 卒業謝恩パーティー



九月二十八日(火)、午前十時三十分より、本学一号館三階会議室五にて、二〇一〇年度春学期末学位授与式が挙行政されました。

追手門学院歌斉唱後、落合学長から、学部卒業生四十五名を代表して五学部八学科の代表者それぞれに学位記が授与され、その後、落合学長から式辞が述べられました。

来賓紹介に続いて、卒業生へ大野教育後援会会長からはバリー名刺入れ、平野校友会会長からは卒業アルバム、林田卒業生保護者の会会長からは筆記具が贈呈され、滞りなく式は終了しました。

学位授与式終了後、場所を食堂棟二階に移し、午前十一時

三十分より、教育後援会主催の卒業謝恩パーティーを開催しました。大野会長の挨拶の後、落合学長の挨拶があり、黒瀬副会長の乾杯で会食が始まりました。お世話になった教職員、来賓等多数の方々にご参加いただき、会場は和やかな雰囲気となりました。

最後に、司会・進行役の荒木副会長の閉会の辞で、名残惜しみつつ、卒業謝恩パーティーは幕を閉じました。



特別公開講座

「おうてもん塾」



特別公開講座、追手門学院大学社会人教室「おうてもん塾」が第二期まで、学院施設である、大阪城スクエアにて、一期全六回の講座が開講されました。

第一期は、五月十九日(火)から六月二十二日(火)まで、国際教養学部の「外国語イントロ講座」アジアの「ことば編」と題し、前年度好評だった企画の第二弾として開催されました。外国語が話せたらとお考えの方、英語以外の外国語もやってみたい、どの外国語から始めたいのか迷っていたなど、一歩を踏み出すきっかけとして、ベルシア語、タミル語、ベトナム語、タイ語、韓国・朝鮮語、上海のことばについて、イントロ講座で教えていただきました。

第二期は、十月五日(火)から十一月十六日(火)まで、心理学部の「日々を快適に生きるための心理学」と題し、心の健康はもちろん、身体の健康や人間関係、人と環境との関わりも含め、心理学部の先生方と日常生活の不快感やストレスをいかに低減し、快適な日常を過ごすかを考えました。

各期の最終講で、全六回受講された方には、大学から修了証が発行され、落合学長より、一人一人に手渡されました。

今年度より、一般の方にも無料で開講し、多くの方々にご参加いただき好評を得ております。第三期の詳細につきましては、同封のちらしをご覧ください。全六回のうち、興味のある一回のみの受講も可能です。

大阪城スクエア セミナー・講演会のご案内

大阪城スクエアでは次のような講座等の参加者を募集中

- ◆ 1月29日 15:00～16:30 入場無料
第3回文章表現コンクール「青が散る」Award表彰記念イベント
三田誠広 講演会「考えることと書くこと」
お申込みは aogachiru@wave-int.co.jp
お問い合わせは教育研究所 072-641-9659 まで
- ◆ 1月23日 14:00～17:00 参加費 500円
日本ペンクラブ・追手門学院共催セミナー
「電子書籍と図書館—日本ペンクラブと日本図書館協会の意見」
◆ 2月26日 開講 10:30～12:00 (全3回)
受講料 2,000円
「城を楽しむ」講師：城跡探訪家 花田 知三氏
※受講料は天守閣見学料を含む

お申し込み・お問い合わせは大手前センター 06-6942-2788 まで

上海万博 追手門学院ウィーク開催

大学では、二〇〇九年から三年間を国際交流推進年とし、様々な取組が実施されています。その一環として、上海万博に大学として参加し、八月三十一日から九月五日まで、日本産業館のJALステージで、中国からの留学生を司会者とし、学院関係者の出演でステージを盛り上げました。大学のクラブでは、少林寺拳法部、吹奏楽団、チャリディング部、中国武術部が演技を披露しました。学生インターンシップも合わせ、多くの学生が、国際交流・日中友好・異文化理解をめざして現地で活躍いたしました。本会からはこの記念事業に協力金を拠出いたしました。



2010年度大学行事予定

12月1・2日	3年第8回就職ガイダンス
6日	4年第4回秋学期キャリアガイダンス (A) 2年第9回秋学期キャリアガイダンス (A・B)
7日	2年第9回秋学期キャリアガイダンス (C)
9日	3年第3回就職模擬テスト
12日	公募制推薦入試B日程
13日	2年第10回秋学期キャリアガイダンス (A・B) 4年第4回秋学期キャリアガイダンス (B)
14日	2年第10回秋学期キャリアガイダンス (C) 1年第3回キャリアガイダンス
17日	公募制推薦入試B日程合格発表
19日	入試直前相談会
21日	1年第4回キャリアガイダンス
23日	冬期休業開始 (1/6 まで)
24日	秋学期集中講義 (1/6 まで)
1月13・14日	3年第9回就職ガイダンス
15・16日	大学入試センター試験
22日	保護者のための就職講演会・相談会
25日	秋学期授業終了
26・27日	秋学期補講
28日	秋学期末試験開始 (2/12 まで)
2月5・6日	一般入試A日程
7・8日	一般入試S日程
12日	大学院第2期入試 (全専攻) 大学院博士後期課程入試 (経済学・経営学) 大学院社会人入試 (経済学・経営学・社会学・中国文化・英文学) 大学院外国人留学生入試 (社会学・中国文化)
14日	3年第10回就職ガイダンス
15日	3年春期学内企業説明会 (2/23 まで) 一般入試A日程合格発表 一般入試S日程合格発表
18日	大学入試センター試験利用入試A日程合格発表 大学院入学試験合格発表 (2/12 実施分)
3月1日	学部4年・大学院2年成績交付
3日	学部1年～3年・大学院1年成績発表 (UNIVERSAL PASSPORT にて公開)
4日	一般入試B日程、論文入試B日程 卒業生発表
11日	一般入試B日程、論文入試B日程合格発表 大学入試センター試験利用入試B日程合格発表
23日	学位授与式並びに卒業謝恩パーティー
25日	春期休業開始 (3/29 まで)
30日	新3・新4年生オリエンテーション
31日	新2年生オリエンテーション 教職等資格オリエンテーション

保護者のための就職講演会・懇談会開催について

教育後援会と大学との共催により、「保護者のための就職講演会」を、七月二十四日(土)、午後一時三十分から、追手門学院大阪城スクエアにて開催しました。

第一部は「最新！企業採用選考法」エントリーシート、ディベートって何？と題し、講師に就職支援団体【就活ワークス】主宰株式会社ビジネスリテラシー代表取締役 神瀬邦久氏による講演会が開催されました。

第二部は、午後三時三十分から個人相談会が開催されました。

今回は、一～三年生の保護者を対象として、来る二〇一一年一月二十二日(土)に、「保護者のための就職講演会」を開催いたします。終了後には、個別に就職・進路個人相談も行いますので、是非ご参加ください。

詳細は、別途郵送の案内状(一～三年生の保護者に郵送)をご覧ください。なお、ご参加いただくためにはお申し込みが必要です。多数のご参加をお待ちしています。

保護者のための講演会開催

二〇一〇年七月一〇日(土)

「保護者のための講演会」を午後二時より、大学五三〇一(フォーラム)教室にて開催し、西神戸医療センター 精神・神経科部長の高宮静雄先生より、『診察室からみた大学生のメンタルヘルスと保護者のメンタルヘルス』と題し、ご講演いただきました。診察室での経験を通して、現代の大学生と保護者が直面する、メンタルヘルス上の問題と、それに対して保護者に何ができるのかを会員の皆様と一緒に考える機会となりました。

二〇一〇年度
教育後援会給付奨学金
交付式挙行

二〇一〇年度「追手門学院大学教育後援会給付奨学金」交付式が、春学期、秋学期に挙行され、二十名の学生に奨学金が給付されました。

この奨学金は、教育後援会の資金をもつて創設し、修学の熱意があるにも関わらず経済的理由により修学困難な学生への援助を目的とし、給付制となっております。

奨学生の皆さんが、今後より一層の研鑽を積んでいかれることを願っております。

名誉教授称号授与

前学長

鈴木 多加史

前経営学部教授

真庭 功

前心理学部教授

西川 喜朗

前社会学部教授

矢谷 慈國

前社会学部教授

吉田 正

前社会学部教授

見正 秀基

(二〇一〇年四月一日付)

新任教員紹介

経営学部教授

梶原 晃(かじわら あきら)

経営学部准教授

原田 章(はらだ あきら)

国際教養学部准教授

磯貝 健一(いそがい けんいち)

心理学部講師

河崎 美保(かわさき みほ)

心理学部教授(任期限定)

松野 凱典(まつの かつのり)

(二〇一〇年四月一日付)